

「のんのんばあ祭」開催

平成24年4月8日(日) 午前10時頃～終日

一畑薬師 本堂 ならびに 境内 にて



写真／のんのんばあとしげる少年像(境港の水木ロード)

「のんのんばあ」は、熱心に一畑薬師如来を信仰する薬師信者でした。しげる少年を連れて一畑薬師へお参りしたのです。

一畑薬師において「のんのんばあ祭」を開催することになりました。水木先生を通して妖怪世界を全国に広めた「のんのんばあ」の功績や、生前の信心や信仰活動に対する勤労と努力に報いる慰霊祭を厳修します。

記念事業として「のんのんばあとしげる少年」、「目玉おやし」（4体）のブロンズ像を一畑寺境内、1300段の石段、一畑口駅などに建立することも決まりました。

これらのブロンズ像は有志の方のご寄付で建立させていただきたいと考えております。詳しくは、一畑薬師の

ホームページにて年内にお知らせする予定です。どうぞよろしくお願いいたします。

- 一畑薬師の「ようかさん」「花まつり」にあわせて開催します。
- 水木しげる先生ご夫妻もお参りされる予定です。

■ 「のんのんばあ」とは… 水木しげる先生の著書である「のんのんばあとオレ」は水木先生の少年時代の楽しく、また切ない思い出がつづられているエッセイで、その不思議な魅力からドラマ化や漫画化を通してたくさんの方々に親しまれています。「のんのんばあ」とは少年時代の水木しげる(本名・武良茂)の家にお手伝いに来ていた「景山ふさ」という老婆のことです。境港のみならず出雲地方では神仏に仕える人を「のんのんさん」と呼んでおり、ふささんは拝み屋の妻だったため「のんのんばあ」と呼ばれていました。

■ 一畑薬師との関係… ふささんご夫妻は、熱心な一畑薬師信者だったようです。目に霊験あらたかといわれる「お茶湯」を持ち帰り、常日頃から「おんころころせんだりまとうぎそわか」(ご真言)をとこなえるなど、一畑薬師を信仰していました。しげる少年が4歳のとき、一畑薬師へ連れてお参りをし、たびたびお化けや妖怪の世界を語って聞かせ、後年の『妖怪漫画家・妖怪研究家』への素地を作った人物であると言えます。1933年(昭和8年)に肺結核で亡くなりました。

- のんのんばあ慰霊祭(午前11時～「ようかさん」にて)
- ブロンズ像の除幕式(午前12時頃「ようかさん」終了後…)
- その他、色々な記念イベントが計画される予定です

～ 当日は一畑薬師へご参拝ください ～



写真／目玉おやし像
(境港の水木ロード)

◆ 一畑薬師(一畑寺) Tel.0853-67-011 / <http://ichibata.jp>
〒691-0074 島根県出雲市小境町 803 番地